



Broadmedia

2019年度第2四半期 決算概況

ブロードメディア株式会社

2019年10月30日

本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみに全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します。



2019年度第2四半期 連結業績

通期業績予想の修正

連結財政状態

経営統合について

トピックス

【参考資料】

- ・ 事業セグメント別の連結業績

第2四半期累計期間の(4月～9月)の連結経営成績



Broadmedia

(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額
売 上 高	5,509	5,491	→ △ 18
営 業 利 益	△ 97	174	↗ 272
経 常 利 益	△ 83	268	↗ 352
純 利 益	△ 165	222	↗ 387

概 況

- 前年同期と比べて、売上高は同水準、営業利益は黒字化
- 営業増益に加え、保険金の受領等により経常利益も増益
- 釣りビジョン社において地方税の還付があったことや、損害賠償請求訴訟の一部解決金を特別利益に計上したこと等により、純利益も増益

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	1,112	1,431	↑ 319	△ 40	104	↑ 144
放 送	1,451	1,389	↓ △ 62	75	139	↑ 63
ス タ ジ オ	1,127	1,183	↑ 56	△ 15	△ 53	↓ △ 38
技 術	1,265	1,396	↑ 131	212	230	↑ 17
ネットワーク営業	552	90	↓ △ 462	22	△ 13	↓ △ 35
全 社 費 用				△ 352	△ 231	↑ 120
合 計	5,509	5,491	→ △ 18	△ 97	174	↑ 272

✓ 「コンテンツ」の増収増益が連結業績を大きくけん引

✓ 「ネットワーク営業」は大幅な減収減益

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	1,112	1,431	 319	△ 40	104	 144
			+29%			黒字転換

- ✓ 教育サービスは、入学生徒数が過去最高となり増収増益
- ✓ デジタルメディアサービスは、広告収入やVODサービスが好調に推移したことで売上高が増加し、黒字化
- ✓ クラウドゲーム事業の営業損失は縮小

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	1,112	1,431	319	△ 40	104	144
放 送	1,451	1,389	△ 62	75	139	63

△4%

+84%

- ✓ 売上高は、視聴料収入が減少傾向にあり減収
- ✓ 継続したコスト削減の取り組みにより、営業利益は増益

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	1,112	1,431	319	△ 40	104	144
放 送	1,451	1,389	△ 62	75	139	63
ス タ ジ オ	1,127	1,183	56	△ 15	△ 53	△ 38

+5%

△赤字拡大

- ✓ 制作事業は、受注が増加し、増収増益
- ✓ 番組販売事業は、売上の減少に加え、原価率が上昇
- ✓ 映画配給事業は、引き続き苦戦が続く
- ✓ その結果、売上高は増加したが、赤字が拡大

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	1,112	1,431	↑ 319	△ 40	104	↑ 144
放 送	1,451	1,389	↓ △ 62	75	139	↑ 63
ス タ ジ オ	1,127	1,183	↑ 56	△ 15	△ 53	↓ △ 38
技 術	1,265	1,396	↑ 131	212	230	↑ 17

+10%

+8%

✓ CDNサービスの既存顧客への新たなソリューションやサービスの提供が寄与し、増収増益

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	1,112	1,431	↑ 319	△ 40	104	↑ 144
放 送	1,451	1,389	↓ △ 62	75	139	↑ 63
ス タ ジ オ	1,127	1,183	↑ 56	△ 15	△ 53	↓ △ 38
技 術	1,265	1,396	↑ 131	212	230	↑ 17
ネットワーク営業	552	90	↓ △ 462	22	△ 13	↓ △ 35

△84%

△損失計上

- ✓ ブロードバンド回線の販売(代理店販売)の苦戦が続き、大幅減収となり損失を計上
- ✓ 事業の再構築に時間を要している

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	1,112	1,431	▲ 319	△ 40	104	▲ 144
放 送	1,451	1,389	▲ 62	75	139	▲ 63
ス タ ジ オ	1,127	1,183	▲ 56	△ 15	△ 53	▲ 38
技 術	1,265	1,396	▲ 131	212	230	▲ 17
ネットワーク営業	552	90	▲ 462	22	△ 13	▲ 35
全 社 費 用				△ 352	△ 231	▲ 120

- ✓ 前年同期に発生した一時的な費用(約150百万円)がなかった一方、コンプライアンス強化やセキュリティ対策等に係る費用が発生



2019年度第2四半期 連結業績

通期業績予想の修正

連結財政状態

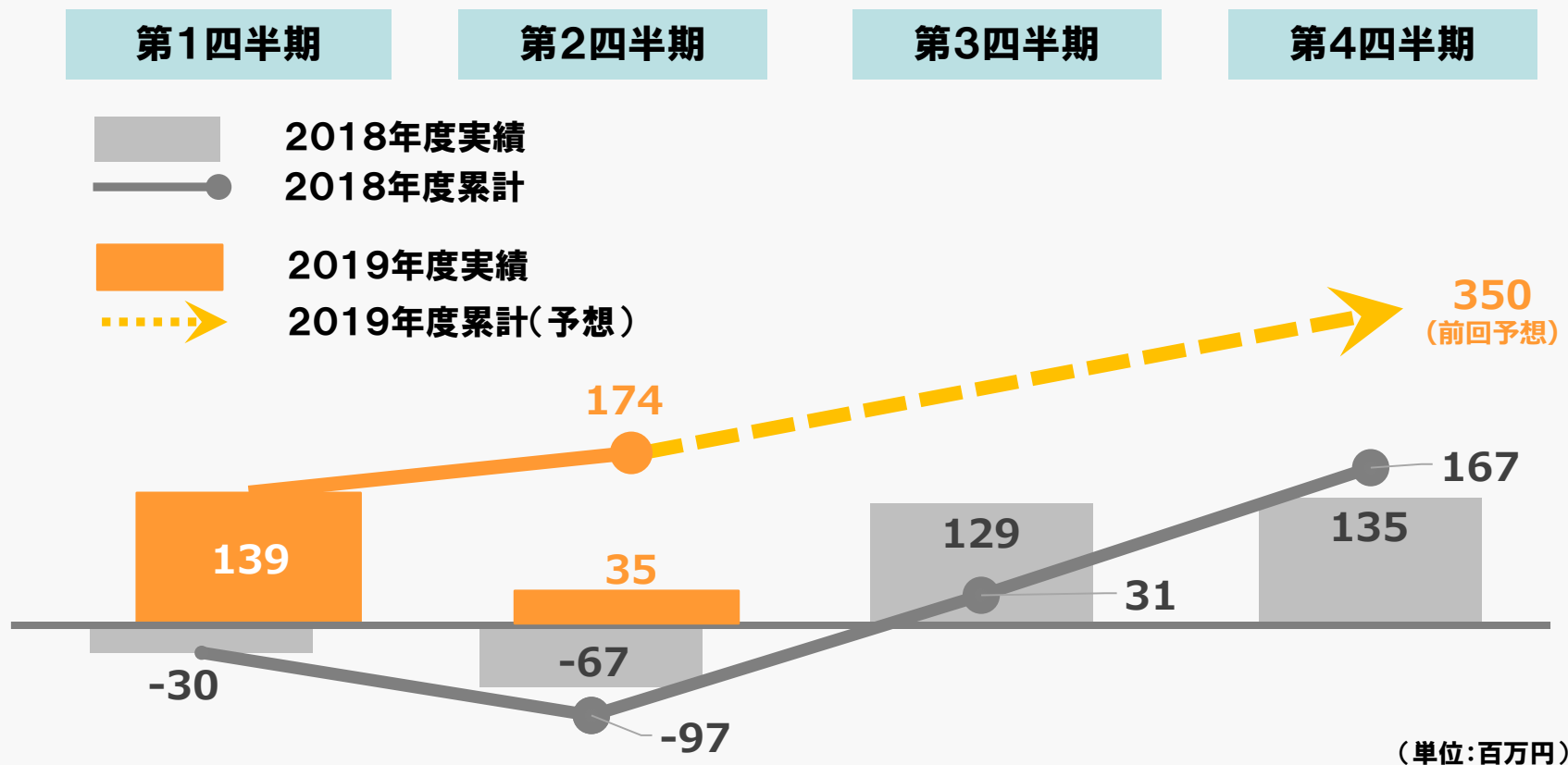
経営統合について

トピックス

【参考資料】

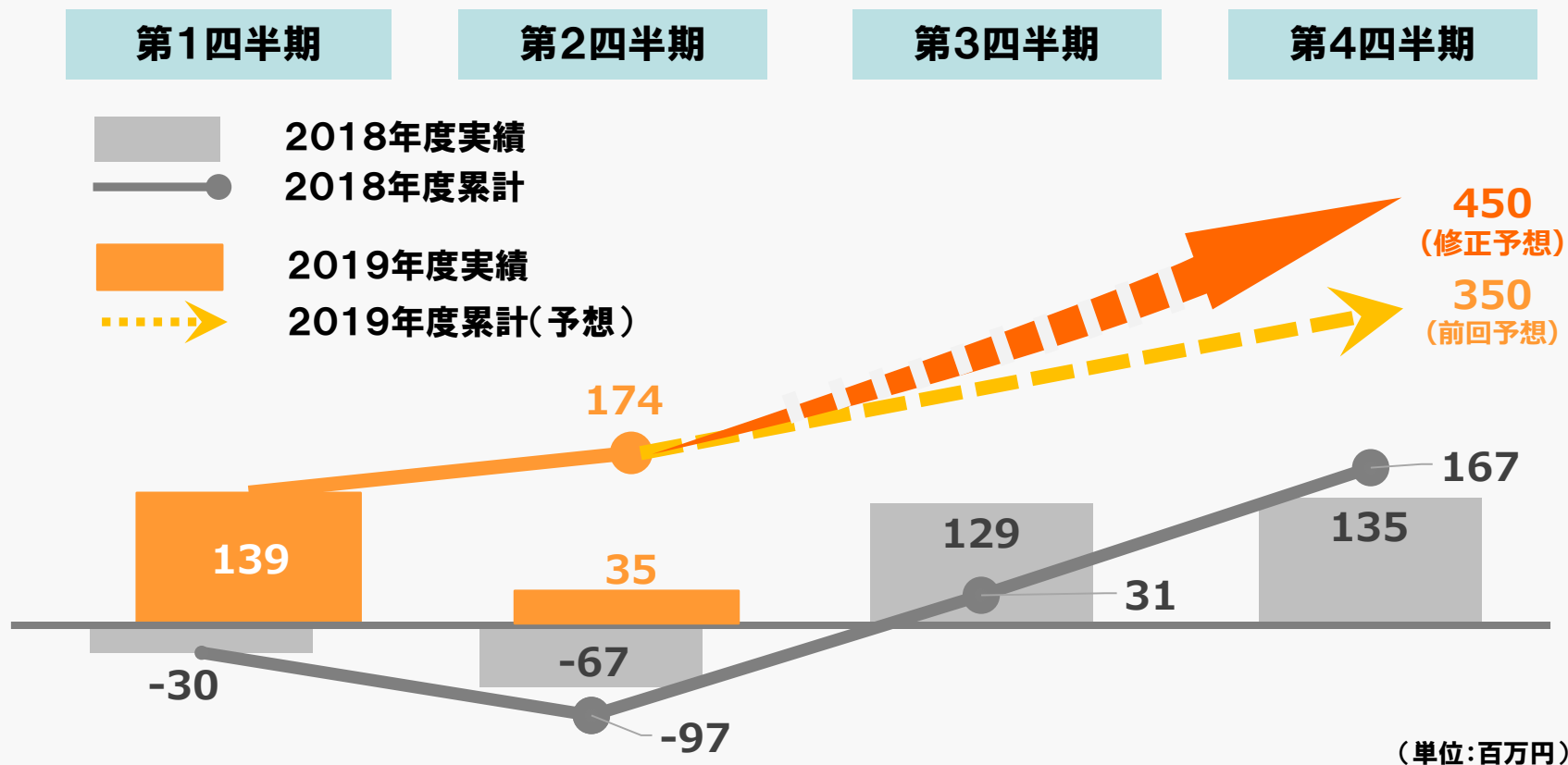
- ・ 事業セグメント別の連結業績

営業利益の推移



■ 上期は大幅増益、想定を上回り好調に推移

営業利益の推移



- 上期は大幅増益、想定を上回り好調に推移
- 下期も、前期並みの利益を見込む
- 前回予想350百万円を450百万円に上方修正する

経常利益の推移

- 期初に想定していなかった、保険金の受領等が利益を押し上げたことで、9月30日付で50百万円の上方修正を行った
- 今回、通期営業利益の上方修正に伴い、100百万円の上方修正を行う

純利益の推移

- 経常増益に加え、損害賠償請求訴訟の一部解決金130百万円を特別利益に計上したことで、9月30日付で90百万円の上方修正を行った
- 今回、通期の営業利益の上方修正に伴い、70百万円の上方修正を行う

■ 通期の連結業績予想

(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

通期	期初予想 (5月10日発表)	前回予想 (9月30日発表)	修正予想 (10月30日発表)	差異
売上高	12,000	12,000	12,000	→ 0
営業利益	350	350	450	↗ 100
経常利益	360	410	510	↗ 100
純利益	180	270	340	↗ 70

■ 株主還元について

業績は回復基調にあります但現時点では利益剰余金がマイナスのため、

- ✓ 中間配当につきましては、期初予想のとおり、見送らせていただきます
- ✓ 期末配当につきましても、期初予想を据え置き、無配とさせていただく予定です

本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみに全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します。

2019年度第2四半期 連結業績

通期業績予想の修正

連結財政状態

経営統合について

トピックス

【参考資料】

- ・ 事業セグメント別の連結業績

資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	2018年度	2019年度 第2四半期	増減額	増減率
総 資 産	6,557	6,603	45	1%
負 債	3,554	3,297	△ 256	△7%
純 資 産	3,003	3,305	301	10%
自 己 資 本	2,333	2,502	168	7%
非支配株主持分	669	802	132	20%
自己資本比率	36%	38%	—	—

(百万円未満切捨て)

- 総資産：番組勘定等が減少した一方で、現預金や前払費用が増加
- 負債：預り金や社債が増加した一方で、買掛金や前受金が減少
- 純資産：純利益の計上により、純資産は増加
- 業績の改善に伴い、財務体質の健全化が進む

キャッシュフローの状況

	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期
営業キャッシュフロー	△ 278	254
投資キャッシュフロー	△ 43	△ 92
財務キャッシュフロー	42	△ 62
現金及び現金同等物の増減	△ 278	98
現金及び現金同等物の期末残高	1,337	1,971

(単位：百万円) (百万円未満切捨て) ※上記表中には「現金及び現金同等物に係る換算差額」は記載しておりません

営業キャッシュフロー

- 前受金や仕入債務が減少した一方、税引前利益391百万円を計上したことや過年度法人税の還付等により、プラス254百万円

投資キャッシュフロー

- 固定資産の取得や貸付による支出等により、マイナス92百万円

財務キャッシュフロー

- 普通社債(1億円)を発行した一方で、リース債務返済があったことにより、マイナス62百万円



2019年度第2四半期 連結業績

通期業績予想の修正

連結財政状態

経営統合について

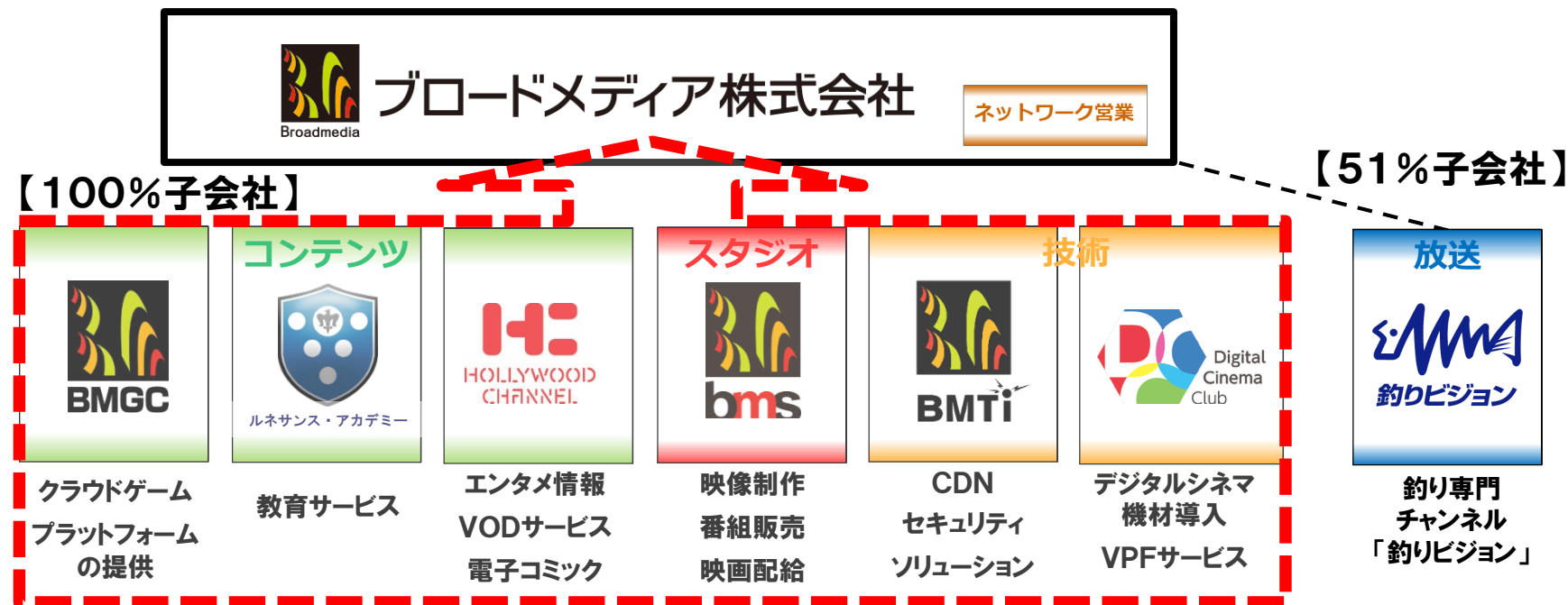
トピックス

【参考資料】

- ・ 事業セグメント別の連結業績

2020年4月1日付で、100%子会社6社を吸収合併

- 10月30日付の取締役会にて合併を決議
- 債務超過の子会社について、債務免除を行う予定(※ 連結業績への影響なし)
- 合併にあわせて、セグメントの変更を検討



子会社・事業部間の壁を取り払う

- 事業部間の協業の促進
- ガバナンスとコンプライアンス体制のさらなる強化
- 人事の最適化・人材育成の推進
- 管理部門等の集約による経営効率の向上
- 税務上のメリット(節税効果)

経営統合により企業価値向上を推進

2019年度第2四半期 連結業績

通期業績予想の修正

連結財政状態

経営統合について

トピックス

【参考資料】

- ・ 事業セグメント別の連結業績

**消費税・
法人所得税
の更正手続き**
(完了)

⇒ 「更正請求」はすべて認められ、完了
還付総額は408百万円
(前期:289百万円 当期:119百万円)

保険金の受取
(完了)

⇒ 架空取引被害で発生した費用の一部等について、70百万円の保険金を受領(当期)

民事手続き
(損害賠償請求等による回収)
(継続中)

⇒ 損害賠償請求訴訟の一部について和解が成立。解決金は130百万円(当期)
⇒ 残る損害賠償請求裁判および個別交渉を継続中

刑事手続き
(継続中)

⇒ 刑事告訴に必要な資料を提出し、
警察・検察にて捜査中

2019年9月 ルネサンス高校グループの eスポーツコースが 「東京ゲームショウ 2019」に初出展



大阪梅田、新宿代々木キャンパスに続き
ルネサンス豊田高校 名古屋栄キャンパスに
2020年4月、「eスポーツコース」を新規開講

感動の陶芸漫画が空前の陶芸ブームに乗って待望の実写映画化！

奈緒初主演映画『ハルカの陶^{すえ}』

10月25日(金) イオンシネマ岡山 先行公開

11月30日(土) ユーロスペースほか全国順次公開

千年の歴史に触れた。新しい自分を見つけた。



© 2019「ハルカの陶」製作委員会

突如、謎の死を遂げた伝説的JAZZミュージシャンの光と影。
孤高の天才チェット・ベイカーの、知られざる“最期の日々”を辿る一。

映画『マイ・フリーツシュ・ハート』

11月8日(金)

ヒューマントラストシネマ有楽町、新宿武蔵野館ほか全国順次公開

音楽だけの、愚かな人生だったのか——



世界も注目する、小さな町の小さな動物園を舞台にした感動の物語。

映画『いのちスケッチ』

11月8日(金)福岡県先行公開

11月15日(金)ユナイテッド・シネマ豊洲ほか全国順次公開

動物園、そこはいのちを感じる場所



©2019「いのちスケッチ」製作委員会

東日本大震災から8年、広島から岩手の大槌町へ
傷ついた心を抱えた少女の旅が始まるー。

映画『風の電話』

出演：モトヲ世理奈 西島秀俊 西田敏行(特別出演) 三浦友和
2020年1月24日(金) 新宿ピカデリーほか全国順次公開

もう一度、話したい



©2020 映画「風の電話」製作委員会

ご清聴ありがとうございました



Broadmedia

本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみにも全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します



2019年度第2四半期 連結業績

通期業績予想の修正

連結財政状態

経営統合について

トピックス

【参考資料】

- ・ 事業セグメント別の業績

事業セグメント別の連結業績 ～コンテンツ～



	売 上 高			営 業 利 益		
	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	1,112	1,431	▲ 319	△ 40	104	▲ 144

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- 教育サービスは、入学生徒数が過去最高となり増収増益
- デジタルメディアサービスは、広告収入やVODサービスが好調に推移したことで売上高が増加し、黒字化
- クラウドゲーム事業の営業損失は縮小

◆クラウドゲームサービス

- ・クラウドゲーム「Gクラスタ」
- ・スマホ向けクラウドゲームアプリ
- ・通信事業者向けプラットフォーム

◆デジタルメディアサービス

- ・「クランクイン！ビデオ」
- ・「クランクイン！コミック」
- ・「クランクイン！」

◆教育サービス

- ・ルネサンス高等学校
- ・ルネサンス豊田高等学校
- ・ルネサンス大阪高等学校
- ・日本語研修、日本語教師養成講座の運営

事業セグメント別の連結業績 ～放送～



		売上高		
		2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額
放	送	1,451	1,389	 △ 62

		営業利益		
		2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額
		75	139	 63

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- 売上高は、視聴料収入が減少傾向にあり減収
- 継続したコスト削減の取り組みにより、営業利益は増益

◆釣り専門チャンネル「釣りビジョン」

- ・衛星基幹放送事業(BS放送)
- ・ケーブルテレビ局等への「釣りビジョン」の提供
- ・その他

事業セグメント別の連結業績 ～スタジオ～



	売 上 高			営 業 利 益		
	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額
ス タ ジ オ	1,127	1,183	 56	△ 15	△ 53	 △ 38

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- 制作事業は、受注が増加し、増収増益
- 番組販売事業は、売上の減少に加え、原価率が上昇
- 映画配給事業は、引き続き苦戦が続く
- その結果、売上高は増加したが、赤字が拡大

◆制作事業

- ・日本語字幕制作
- ・日本語吹替制作
- ・文字放送字幕制作
- ・番組宣伝制作

◆映画配給事業

- ・劇場映画の製作・配給
- ・DVD / Blu-rayの発売
- ・TV放映権の販売
- ・VOD権の販売

◆番組販売事業

- ・ハリウッド映画等のテレビ局への供給

事業セグメント別の連結業績 ～技術～



		売上高			営業利益		
		2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額
技	術	1,265	1,396	▲ 131	212	230	▲ 17

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- CDNサービスの既存顧客への新たなソリューションやサービスの提供が寄与し、増収増益

◆CDNサービス

- ・ブロードメディア®CDN CMオンライン
- ・ブロードメディア・テクノロジーズ社のCDNサービス等

◆ホスピタリティ・ネットワーク

- ・ホテルの客室、会議室等へのインターネットサービスの提供

◆デジタルシネマサービス

- ・ブロードメディア®CDN for theater
- ・配信機器等の販売及びレンタル
- ・VPFサービスの提供

◆その他ソリューションサービス

- ・プライベートネットワーク「Aryaka」
- ・対話型AIプラットフォーム「Passage AI」

事業セグメント別の連結業績 ～ネットワーク営業～



	売 上 高		
	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額
ネットワーク営業	552	90	△ 462

	営 業 利 益		
	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額
	22	△ 13	△ 35

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- ブロードバンド回線の販売(代理店販売)の苦戦が続き、大幅減収となり損失を計上
- 事業の再構築に時間を要している

◆ブロードバンド回線販売

◆ISPサービス販売

◆その他

事業セグメント別の連結業績 ～全社費用～

	営 業 利 益		
	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額
全 社 費 用	△ 352	△ 231	 120

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- 前年同期に発生した一時的な費用(約150百万円)がなかった一方、コンプライアンス強化やセキュリティ対策等に係る費用が発生

◆グループ本社(ブロードメディア)の管理部門に係る費用・損益

創造力が生み出す優れた作品やサービスを

広く社会に普及させ

より豊かなコミュニティの形成・発展に貢献する

[*https://www.broadmedia.co.jp/*](https://www.broadmedia.co.jp/)



Broadmedia

本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみ全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します